



平成 24 年 9 月 27 日

国土交通省 中部地方整備局
木曾川上流河川事務所
独立行政法人 水資源機構
徳山ダム管理所

徳山ダムにおける電力需要ピークに対応した 貯水池運用の実施結果について

徳山ダムでは、今夏の中西日本の深刻な電力不足に対する中部電力（株）からの協力要請を受け、ダム管理及び徳山水力発電所工事に支障のない範囲で、電力需要ピークに対応した貯水池運用を行い、ダム下流の揖斐川にある4つの水力発電所の電力需要ピーク時の増電につながる放流を実施しました。

この運用の結果、ピーク時には平均で一般家庭約3千3百世帯分に相当する電力の増加になりました。

資料 : 別紙

配布先 : 岐阜県政記者クラブ

問合せ先 :

独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所

管理課長 おおた あつし 太田 敦司

電話 : 0585 (52) 2910 (代表)

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 流水調整課長 ふくざわ まこと 福澤 誠

電話 : 058 (251) 1321

参 考 資 料

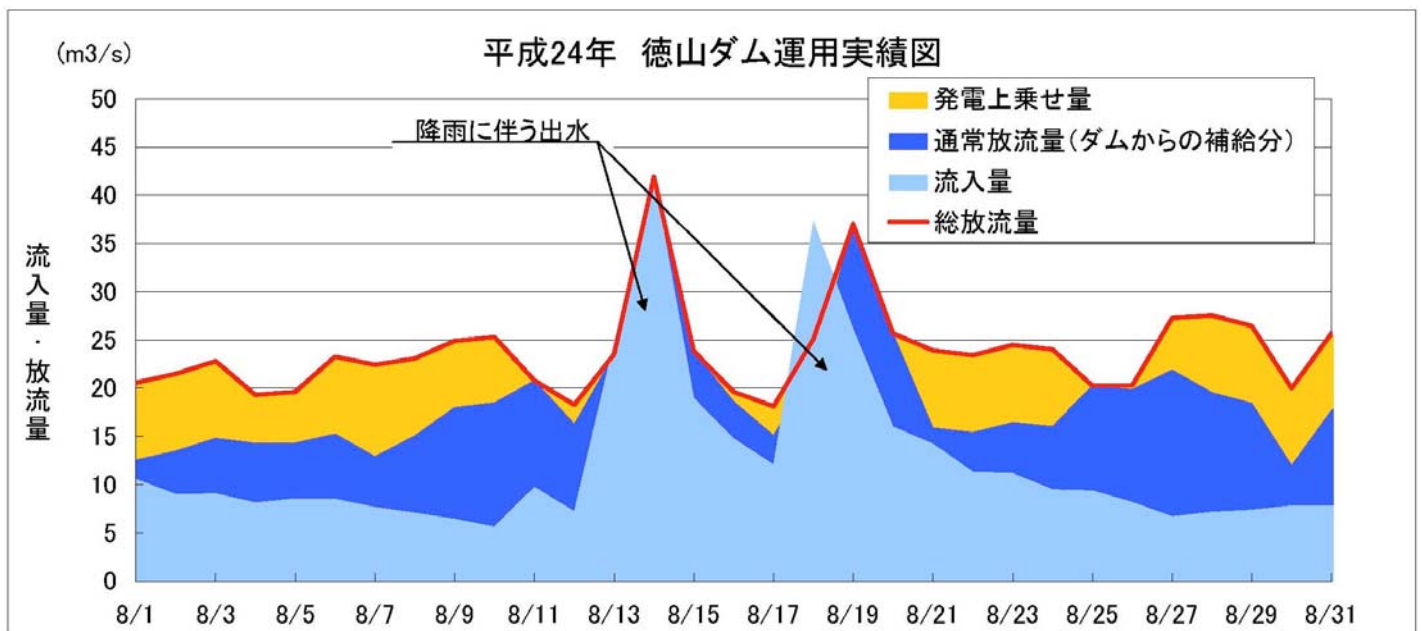
1. 実施期間

- ・ 8月1日～31日までの間において延べ24日間で実施

2. 今回の運用における実績

- ・ ピーク時（10時～17時）平均の合計電力は10,032kW
- ・ ピーク時には平均で一般家庭3千3百世帯分に相当する電力の増加
- ・ 期間中のピーク時最大の増電量は、一般家庭6千9百世帯分に相当し、揖斐川町の世帯数約8千世帯の約8割にあたる。

※ 1世帯あたり3kWとして算出しています。



※通常放流量(ダムからの補給分)とは、今回の電力需要ピークに対応した貯水池運用を行わない場合の放流量の内、ダム貯留水から下流河川へ補給した水量

電力需要ピーク時の増電効果が期待できる発電所

